

令和7年度 事業報告

令和7年度においては、大阪・関西万博において膜構造、膜材料等が多く活用されたことも踏まえ、膜構造、膜材料等の一層の普及・発展と品質・安全性確保のための諸事業を実施するとともに優れた作品等の表彰、令和8年度の表彰に向けた募集、審査を行った。

また、一層の普及に向けた制度改善等について協議調整を行った。

今後の協会及び会員の活動に資するための調査研究については、近年の膜構造等の普及における課題や社会経済情勢等を踏まえ、着実に実施した。

国土交通大臣から指定を受けて実施している行政代行業業については、建築材料品質性能評価事業及び型式適合認定事業を適切に実施した。

1 品質及び技術水準の確保向上（技術向上事業）について

- (1) 加工工場登録制度について、7工場の審査を行い登録した。また、高度な品質管理を行う工場として新たに2工場の認定を行った（現在の登録工場数、認定工場数は当協会ホームページに掲載。概要は別表のとおり）。
- (2) 「膜施工管理技術者講習」を、令和8年2月4日及び5日に実施し、講習後の考査を経て登録した（現在の登録者は当協会ホームページに掲載。概略は別表のとおり）。
- (3) 「定期点検者講習」を令和7年11月18日に実施し、講習後の考査を経て登録した（現在登録者は協会ホームページに掲載。概略は別表のとおり）。
- (4) 大臣認定を受けた膜材料の定期的な第三者試験の実施に対する補助及び品質管理の推進に向けたJIS品質管理セミナー受講への補助を引き続き行った。
- (5) 国土交通省告示666号等の改正を踏まえ、「膜構造の建築物・膜材料等の技術基準及び同解説」の改訂を行い、講習会実施に向けた調整を行った。

2 技術発展のための調査研究の推進（調査研究事業）について

- (1) 今後の一層の安全性向上に、本協会に保管されている定期点検報告の維持管理に係る情報を活用するためデータ抽出作業を行い、活用方法の検討を進めた。
- (2) 欧州におけるフッ素系材料の使用制限の動き、脱炭素への動きに対し、動向の把握に努めるとともに、会員の協力のもと膜構造に係るCO₂発生原単位算出にむけた検討を進めた。
- (3) 膜種別毎の膜材料等の出荷実績、用途別・膜種別毎の膜構造建築物及び膜天井の事業実績のアンケート調査を実施し、毎年度の膜構造の事業実績に関するフローデータを整備した。
- (4) 「膜構造ジャーナル2024」について、投稿された研究論文について審査を了したものについて投稿された技術情報等をともに年報として公開した。また膜構造ジャーナル2025について募集及び審査を行った。
- (5) 膜材料等に関係する日本産業規格（JIS）について、原案作成委員会の検討に協力した。

3 普及情報事業の推進（技術情報事業）について

- (1) 協会ホームページにおいて、膜構造に関する基礎的な情報、知見の提供、協会事業等に関する最新の情報発信を図るとともに、調査研究成果の活用に向け成果の公表を

行った。併せてホームページのセキュリティ対策を実施した。また、協会事業への理解、膜構造等の一層の普及を図るため協会パンフレットの改訂を行った。

- (2) 会員向け施設見学会を中部地方において開催した。また、個別の見学会を3月に実施した。設計者・自治体担当者等向け見学会・講習会についてこれらの見学先をベースに令和8年度の開催に向け調整を行った。
- (3) 会員の若手職員向けの見学会・交流会の開催について令和8年度開催に向け調整を行った。
- (4) 大阪関西万博において施設の設計に携わった建築家を招き、講演会を開催し、より広く視聴できるようその映像を公開した。
- (5) 膜構造・膜材料等にかかる優れた作品・取組み等の表彰を行うとともに、受賞者からのプレゼンテーション等を行った。令和7年度の募集については、従来の募集区分に加え「特別賞 EXPO2025」の募集を行った。
- (6) 他団体の機関誌等において膜構造等の紹介を行うなど、一層の周知に努めた。

4 性能評価事業等（行政代行事業ほか）について

- (1) 指定性能評価機関として、10件の膜材料に係る性能評価を完了し（軽微な変更2件および読み替え申請3件を含む。）、国土交通大臣への認定申請を8件行った。また、国土交通大臣の認定を受けた膜材料に係るサンプル調査の実施に協力した。
- (2) 膜構造に係る型式適合認定に係る指定認定機関として、7件のテント倉庫建築物の審査を行った。
- (3) 膜構造建築物に係る技術審査として、1件の事前相談があり、審査方針の検討を行った。

5 会議等の開催状況

(1) 総会

令和7年度通常総会を6月23日に開催し、令和6年度事業報告及び決算の承認を行うとともに、令和7年度事業計画及び収支予算の報告を行った。総会後に表彰式および受賞者プレゼンテーションを行った。

(2) 理事会

① 第1回通常理事会（5月20日）

令和6年度事業報告及び決算、通常総会の議案に関する審議、第1種正会員1名の入会にかかる審議、理事の職務執行状況の報告を行うとともに、第2回表彰の対象者を決定した。

② 第2回臨時理事会（11月25日）

第1種正会員3名、第4種正会員1社（再入会）および賛助会員1社の入会にかかる審議、表彰規程の改定などの審議を行うとともに、理事の職務執行状況の報告（2回目）を行った。

③ 第3回通常理事会（令和8年3月31日）

令和8年度事業計画及び令和8年度予算の承認、令和8年度通常総会の開催の決定等を審議するとともに、表彰対象の審査状況などの報告を行った。

(3) 企画運営委員会

委員会を3回開催し、理事会付議事項及び報告事項の確認、協会の運営に係る重要な事項等の協議を行った。

- (4) 品質・技術研究委員会
今年度は委員会の開催はなかった。
- (5) 普及情報委員会
委員会を4回開催し、膜構造普及のための講習会の実施、設計者等むけ見学会・講習会、会員向けの施設見学会、会員若手職員むけ研修会等の実施にむけた協議・検討を行った。
- (6) 表彰委員会 (関連事項：3(5))
表彰委員会を開催し、従来からの3区分及び特別賞 EXPO2025 について、応募のあった作品等の予備審査を行ったうえで、現地審査（膜構造デザイン賞）及びプレゼンテーション審査（技術賞・環境貢献賞、特別賞 EXPO2025）を行った。
- (7) 工場登録専門委員会 (関連事項：1(1))
委員会を1回開催し、工場登録及び認定に係る工場審査等の審議を行った。
- (8) 維持保全専門委員会 (関連事項：1(3))
委員会を2回開催し、定期点検報告書26件の審査を行った。
- (9) 論文集委員会 (関連事項：2(4))
委員会の開催はなかった。
- (10) 性能評価委員会 (関連事項：4(1))
建築材料品質性能評価委員会を5回開催（メール審議、オンライン委員会を含む）し、膜材料10件（軽微な変更等を含む。）についての性能評価を行った。
- (11) 型式適合認定委員会 (関連事項：4(2))
委員会を4回開催し、7件についての審査を行った。
- (12) 性能評価業務及び型式適合認定業務に係る監視委員会 (関連事項：4(1)、(2))
委員会を1回開催し、令和6年度業務に係る審議を行い、国土交通大臣に報告を行った。
- (13) 膜構造技術審査委員会 (関連事項：4(3))
委員会の開催はなかった。

6 会員の動向

	令和7年度末	令和6年度末
第1種正会員	18社	19社
第2種正会員	14社	15社
第3種正会員	83名	81名
第4種正会員	7社	6社
賛助会員	1社	1社
合 計	123会員	122会員

工場登録・認定状況

区 分		登録・認定状況 R8.3.31現在	令和6年度審査実施工場	
			継続工場	新規工場
登録	① B種・C種・テント倉庫用膜材料を加工する工場	16工場	5工場	2工場
	② A種・B種・C・テント倉庫用膜材料を加工する工場	6工場	2工場	
	③ 膜構造用フィルムを加工する工場	4工場	1工場	
認定	① B種・C種・テント倉庫用膜材料を加工する工場	6工場	2工場	
	② A種膜材料を加工する工場	4工場	1工場	
	③ 膜構造用フィルムを加工する工場	3工場	1工場	

複数の区分の登録又は認定を受ける工場あり

膜施工管理技術者 登録数

登録者数		S種	M種	R種
令和8年4月1日現在		83名	29名	1名
令和7年度講習	受講者数	15名	12名	0名
	合格者数	15名	12名	0名
	不合格者数	0名	0名	0名

定期点検者 登録者数

登録者数	令和7年度講習		
	受講者数	合格者数	不合格者数
令和8年4月1日現在			
165名	37名	37名	0人